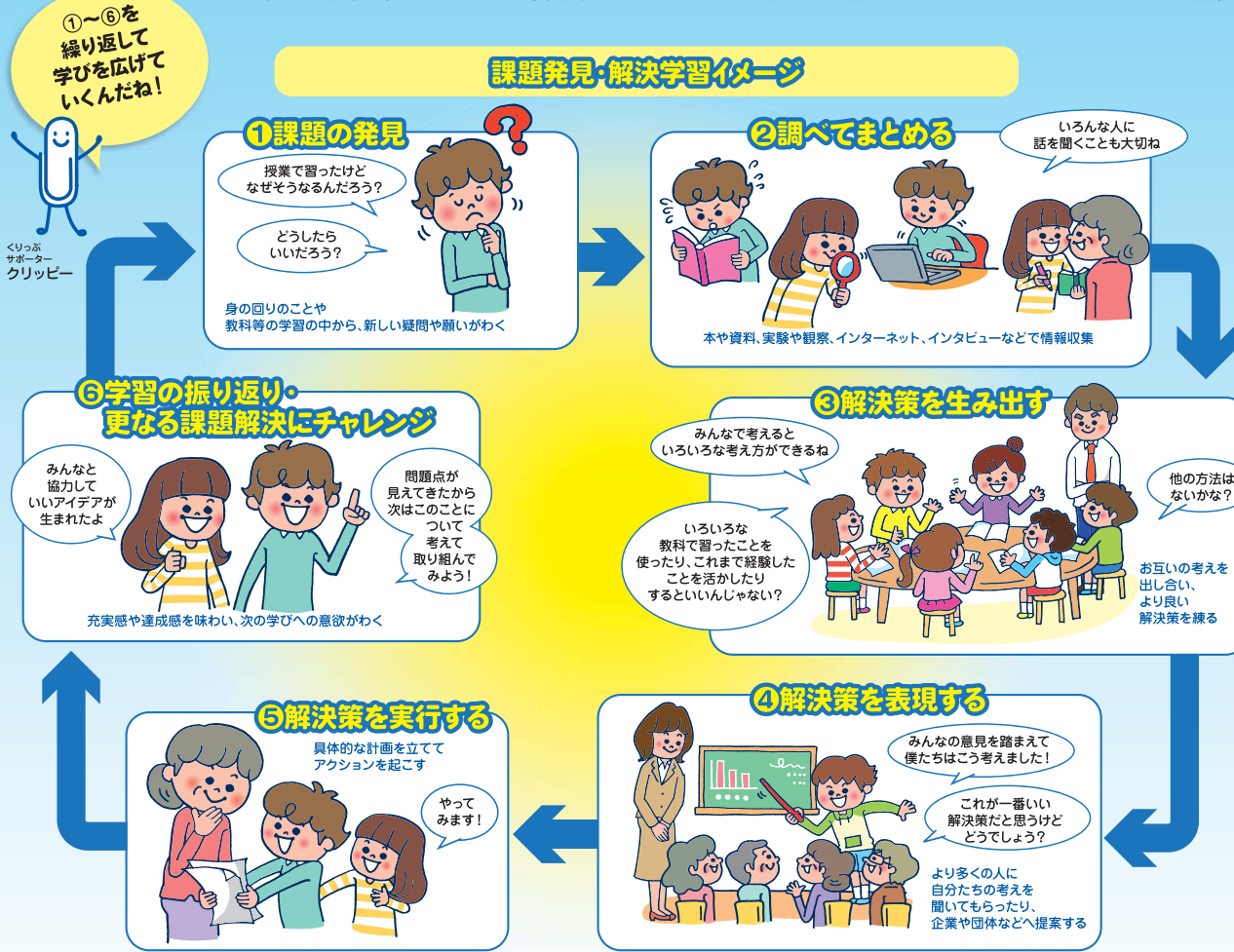


# 「課題発見・解決学習」を推進します!

子供の主体的な学びを促すための具体的な取組として、児童生徒が自ら課題を見つけ、異なる価値観を持つ人々と協働して答えを導き出していく「課題発見・解決学習」を実践していきます。



## 全県に展開していきます!

### 平成27年度 課題発見・解決学習プロジェクト

この事業の中で、小・中・高の「課題発見・解決学習」の実践事例を研究開発します。

#### 【小・中学校】

##### 「学びの変革」パイロット校

- 各教科や総合的な学習の時間における「課題発見・解決学習」の研究開発
- 30校指定(市町1~2校程度)



グループで話し合っている様子

#### 【高等学校】

##### 探究コアカスール

- 総合的な学習の時間を核とした「課題発見・解決学習」の研究開発
- 6校指定、加えて先進校等6校を準指定



研究の成果を発表している様子

平成28、29年度は指定校で実践研究します。

平成30年度から全県で取り組みます。

## 異文化間協働活動推進事業～高校生海外留学1万人プロジェクト～ グローバルな世界を自分の目で見てみよう!

児童生徒のグローバル・マインドや実践的なコミュニケーション能力の育成を目的とし、小学校段階からの体系的な「異文化間協働活動」を推進しています。

広島県では平成26年度に高校生を対象にオーストラリアや台湾などへの低コストで安全な短期留学プログラムを開発しました。また、全ての県立学校(97校)が海外の学校と姉妹校提携を締結し、各学校で様々な交流活動を実施しています。今後もさらに充実したプログラムが多数行われる予定です。

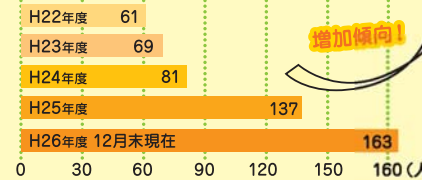


小学生を対象に福山少年自然の家で行われたグローバル・キャンプ(写真上)と、オーストラリアでの短期留学プログラム(写真左)の様子

- ◎お好み焼きの説明のとき、平和についての話があった。いろいろな国の人が楽しく過ごせたので、なぜ今も戦争が起きているのか分からないと思った。
- ◎外国人の方との交流では、英語が分からなかったけど、一生懸命聞くことを頑張った。

#### グローバルキャンプ参加児童の声

県立高校生の海外留学生者数の推移 ※県教委調べ



(県立学校生徒への留学支援の制度)

留学助成金	3か月以上	30万円
	2週間~1年間	10万円

※留学奨学金については4面でもご紹介しています

お問い合わせ/学びの変革推進課  
TEL 082(519)4969 月曜~金曜(祝日を除く)/9時~17時

## 保護者も効果を実感!

子どもの豊かな心を育てる

## 「山・海・島」体験活動

### “ひろしま全県展開プロジェクト”

3泊4日の長期集団宿泊活動「山・海・島」体験活動では、日常とは異なる環境での生活体験や、体験先の地域の方々や学校との交流を通して、児童の自立心や主体性など豊かな心を育成します。

平成27年度は県内7割の327校が実施予定

#### 自立への小さな一歩

体験活動から帰ってきて、まず顔が曇りました。充実して本人なりにがんばってきたのだと分りました。「お母さんはいつも大変なんだね。ありがたう。」とも言ってくれました。体験活動から帰ってきた翌日から、弟にも声をかけて、「こうしよう。」「これしてよね。」など、私が言うより先に弟と一緒に行動しています。家族の一人としての自分の存在の大きさも感じたようでした。体験活動期間が3泊4日と長かったので少し心配していましたが、体験活動を終えて、私自身、息子への愛情を再確認しました。何より自立への小さな一歩を踏み出した、たくましくなったわが子の表情を見て、とても大切な時間だったとありがたく感じています。



初めて体験した林業体験。山の中の様子や木の重み・使われ方など多くの事を学びました。グループで協力し、思い出深い体験となりました。

広島市立戸城山小学校(体験地:北広島町)

## 第40回全国高等学校総合文化祭「2016ひろしま総文」

### 生徒による総文レポート 第1回 ~新聞部門~

平成28年の夏に広島県で開催される、高校生による国内最大の芸術文化活動の祭典「2016ひろしま総文」に向けて、様々な部門(全25部門)で生徒たちが活動を始めています。  
大会に向けた活動を、生徒実行委員会の記録編集委員が毎号紹介していきます。  
第1回は新聞部門の生徒の活動を取材し、レポートします。

平成27年1月31日に新聞部門の生徒たちによる広島県新聞交流会が、崇徳高校で行われました。現役新聞記者から記事の書き方、写真の撮り方の講習を受けた後、この日のテーマ『どうすれば、よりよい総合文化祭になるか』のもと、グループで意見を話し合っ、新聞を作成・発表していました。生徒たちにとっては、日頃の成果を発揮できる場になったと思います。  
新聞交流会の魅力について尋ねると、参加した生徒の一人は、「新聞づくりにつ

いて意見を述べ合うことを通して、他校の生徒と仲良くなることができる。」と教えてくれました。また、主な活動内容を聞いてみると、新聞づくりのレベルアップを目指す研修と新聞づくりがあり、具体的には「広島県の産業などを自分たちで取材して、新聞を作成すること。」と答えてくれました。  
最後に、「全国の皆さんにいい出会いと思い出が提供できるように、私たちもますます勢いをつけて頑張ります。」と強い意気込みを語ってくれました。



大会マスコットもみおん



取材の様子



新聞交流会の様子

## 平成28年度 中国5県でインターハイ開催!

### 部活動で奮闘中! ~神辺旭高等学校 ソフトテニス部~

神辺旭高等学校のコートの上では、大きな掛け声や元気な挨拶が活気に飛び交い、毎日の寒さにも負けず、練習に打ち込むソフトテニス部の部員姿がありました。  
部訓である「この一球は絶対無二の一球なり」にあるとおり、ここぞという一球一打に悔いなく、力を発揮できるよう、フィジカルとメンタルの両面の鍛錬を重ねています。  
昨年度インターハイに出場した男子部員は、「大会の雰囲気にもまれてしまった。全国大会に出場できたことがうれしくて舞い上がっていたが、全国大会で勝つ人はもっと上を目指して競技していて、気持ちで負けていることが分かった。」と大会を振り返りました。中国大会に出場した女子部員は「みんなの期待に応えないといけない」と思い、プレッシャーを感じた。」と話しました。部員たちは、強い気持ちを持って、試合で最大の力が出せるよう、インターハイに向け白球を追い頑張っています。



男子15名、女子16名、総勢31名がソフトテニス部員として部活動に励んでいます。



【男子部員】インターハイ出場と選抜ベスト8を決意!

【女子部員】心一つにして団結力を高め、全体の底力アップを狙う!

#### 生徒の声

- 部活動をしてよかったことは?
  - ・良い先生や先輩、後輩に出会えたこと。
  - ・「旭三訓」の挨拶励行、時間厳守、清掃徹底が守れるようになったこと。
- 部活動をして変わったことは?
  - ・応援してくれる周囲の人に感謝できるようになった。
  - ・体力がついたこと。日々努力すれば自分が変わるということが分かった。

#### 特別支援学校技能検定

### 自立に向かって挑戦!就職に生きる技能検定!

高等部生徒の就労を支援するため、5つの分野(清掃、接客、フープ、流通・物流、食品加工)で本県独自の認定資格を開発し、「特別支援学校技能検定」を行っています。受検した生徒は、検定の評価結果により1級から10級までの級に認定され、認定証が授与されます。



技能検定(食品加工分野)の様子

#### 習得した技術を発信!

三原特別支援学校大崎分校では、技能検定で習得した知識や技術を生かして大崎小学校の児童へ接客等を指導するなど、他の学校へ発信する取組も行い、自らが学んだことを伝える、良い経験となっています。

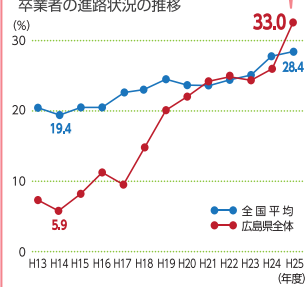
大崎小学校児童の感想  
接客マナーは見ていると簡単そうに見えるけど、実際にやってみるとレイの持ち方などすごく難しかったので、それを全部覚えて、いすすいと思えました。



大崎分校高等部生徒の感想  
初めは、小学生にうまく伝えるかと不安だった。難しいだろうと思った。やってみて、自分がやるより、人に教える方が難しいと思った。でも、認定資格指導員の方に習った「一つ一つの動作について美しくすること」を、ちゃんと小学生に教えることができたので良かった。

県内の特別支援学校高等部の平成25年度卒業生の就職率は、過去最高の33%でした!平成26年度はさらに上昇する見込みです!

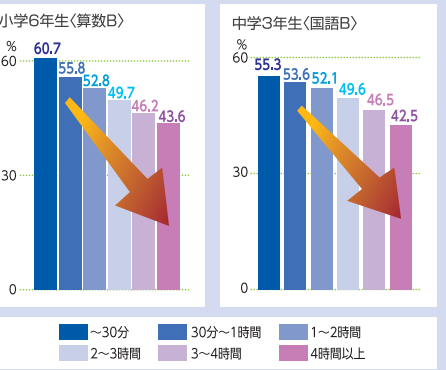
#### 特別支援学校高等部(本科)卒業生の進路状況の推移



## わが家の「ケータイルール」STOP9に取り組みましょう!

近年の携帯電話やスマートフォン等の急速な普及により、メール、通話の他に、LINEなどのSNSを利用する子供が増え、これらを悪用したいじめや犯罪が発生しています。また、学力の面では、「平成26年度全国学力・学習状況調査」の結果によると、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを使用する時間が長い児童生徒の方が、全ての教科で平均正答率が低くなっています。

携帯電話・スマートフォンの1日あたりの使用時間別の平均正答率



携帯電話等に係る啓発活動推進会議では、「携帯電話やスマートフォンによる通信を、午後9時以降はしない」という、わが家の「ケータイルール」を作成する取組の全県一斉展開を呼びかけています。  
わが家の「ケータイルール」として、STOP9に取り組みましょう!